

南っ子の「国語」・「算数」の力と学習の様子

～『令和3年度 全国学力・学習状況調査(2021.5.27 実施) 6年生対象』の結果から～

今年度は、「国語」と「算数」の学力調査が行われました。学習状況調査の結果についても紹介します。

◎は良いところ ▲は伸ばしたいところ

★国語について

＜学習指導要領の4領域（「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」「言葉の特徴や使い方に関する事項」）の結果から＞

◎「言葉の特徴や使い方に関する事項」の領域は、学年全体として大変良好な結果です。「書くこと」の領域も良好な結果でした。

▲「話すこと・聞くこと」の領域で、「目的や意図に応じ、資料を使って話す」問題に課題が見られました。

▲「読むこと」の領域において、「目的に応じ、文章と図表とを結びつけて必要な情報を見つける」問題や「目的を意識して、中心となる語や文を見つけて要約する」問題に課題が見られました。

学校では、文章と図表などの資料を読み取るとともに、それらに関連付けて読むことを通して、内容を理解・解釈する学習活動や、目的に応じて必要な情報を見つけながら読み、元の文章の構成や表現を生かしながら短くまとめる学習活動に力を入れていきます。

児童のみなさんは、相手や目的、自分の意図、場面や状況に応じて、話したり、聞いたり、書いたり、読んだりすることを意識して、これからの学習に取り組んでいきましょう。

★算数について

＜学習指導要領の5領域（「数と計算」「図形」「測定」「変化と関係」「データの活用」）の結果から＞

◎各領域の平均正答率は国と同程度でした。県全体で課題とされてきた「数と計算」領域の設問「30mを1とした時に12mが0.4にあたるわけを書く」については大変良好な結果でした。

▲「数と計算」領域の「8人に4Lのジュースを等しく分けるときの一人分のジュースの量を求める」問題、「図形」領域の「直角三角形の面積を求める」問題、「データの活用」領域の「棒グラフから項目間の関係を読み取る」問題など、基本の問題を誤答する児童が想定よりも多く、課題が見られました。

学校では、繰り返し学習を計画的に実施するとともに、学習した算数の知識や技能を日常生活で活用する機会を増やし、基礎・基本の学習内容が身につくようにしていきます。

児童のみなさんは、落ち着いて問題文を読み、正確に計算することを心がけましょう。ご家族でお菓子を分けたり、体育で記録を測ったりする時など、算数には活用できる場面がたくさんあります。いろいろな場面で、「算数ではどうなるのかな？」と考えてみるといいですね。

★学習や生活について

質問に肯定的に答えている児童ほど学力調査の正答率が高くなる傾向が見られます。

◎学力調査の無回答数は、国・県平均よりもかなり少なく、児童が真剣に粘り強く取り組めたことを示しています。

＜家庭や地域に関すること＞

◎毎日同じ時刻に寝たり起きたりできる児童の割合が高く、規則正しい生活が身についています。

◎携帯電話やスマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守る児童が多いです。

▲平日1日あたりのゲームをする時間の長い児童の割合が、国・県平均と比べて高い傾向があります。

▲平日1日あたりの勉強時間（学習塾、家庭教師等を含む）が、国・県平均と比べて少ない傾向があります。

＜自分自身に関すること＞

◎ほとんどの児童が、自分にはよいところがある、また、将来の夢や目標を持っていると回答しています。

◎ほとんどの児童が、いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思っています。

◎自分で計画を立てて勉強している児童の割合が、国・県平均と比べて高い傾向があります。

▲普段から新聞を読んでいる児童の割合が低いようです。学校の新聞コーナーに掲示してある新聞を読んだり、世の中の新しいできごとに注目したりする習慣を身につけましょう。

＜学校に関すること＞

◎多くの児童が、学校に行くのが楽しいと思っています。

◎学校で、コンピュータ等の機器を使っていると答えた児童の割合が、国・県平均と比べて高い傾向があります。

▲算数の勉強は大切だと思っている児童が多い反面、算数の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないかと考えている児童は少ないようです。

＜新型コロナウイルス感染症による一斉休校期間に関すること＞

本校でも、多くの児童が勉強について不安を感じていたようですが、規則正しい生活ができ、また計画的に学習を続けることができたと答えた児童がたくさんいました。